

令和7年度 尾北支所中学校軟式野球大会要項



と き 令和7年7月 5日(土)
 7月 6日(日)
 7月12日(土)
 7月13日(日)
 【予備日7月19日(土)・7月20日(日)】

ところ 扶桑町総合グラウンド
 扶桑町立扶桑北中学校

- 1 日 時 7月 5日(土) 8:30より1回戦 小雨決行(雨天順延)
 7月 6日(日) 8:30より2回戦 小雨決行(雨天順延)
 7月12日(土) 8:30より準決勝 小雨決行(雨天順延)
 7月13日(日) 8:30より決勝戦 小雨決行(雨天順延)
 7月19日(土)・20日(日) 予備日

- 2 会 場 扶桑町総合グラウンド・扶桑町立扶桑北中学校
 本部(古知野中・佐々)

- 3 対戦組み合わせ及び担当審判

6月18日以降に学校代表メールでデータを送信

- 4 備 考

(1) 使用グラウンド A:扶桑町総合グラウンド B:扶桑町立扶桑北中学校

(2) 試合開始時間 【1回戦】①8:30 ②10:30 ③12:30

【2回戦】①8:30 ②10:30

【準決勝・決勝戦】8:30

※ 全試合90分ルールを採用

(3) 審判員の集合 7:30(派遣審判員の方は担当試合開始の30分前)

(4) 登録メンバーの変更について

やむを得ない理由で登録メンバーを変更する場合は、1日目第1試合開始30分前までに申し出て下さい。

(5) 中止の決定並びに連絡方法

6時30分の時点で判断し、下記の連絡網により連絡

総務

- 犬山中学校 ⇒ 犬山市内の各中学校へ
- 古知野中学校 ⇒ 江南市内の各中学校(滝中も含む)へ
- 岩倉中学校 ⇒ 岩倉南部中学校へ
- 扶桑中学校 ⇒ 大口中学校、扶桑北中学校へ

《開会式について》

※今年度も行わない。

《閉会式について》

□ 参加校 優勝・準優勝

□ 場 所 扶桑町総合グラウンド

※順位決定戦が終わったら3位校の代表者だけを集めて簡易表彰

※決勝戦が終わったら、優勝・準優勝校の代表者だけを集めて簡易表彰

- 1 一同礼
- 2 開式の言葉(高木)
- 3 成績発表(佐々)
- 4 表彰(部長:山本校長先生 補助:水野)
- 5 主催者挨拶(部長:山本校長先生)
- 6 閉式の言葉(高木)

※表彰時の音楽なし

《ゲームに関する留意・指導事項》

1 延長戦について

7回(90分)終了後、勝敗が決しない場合は、継続打順による「タイブレーク」を行い、勝敗を決する。

<タイブレーク>

前回の最終打者を一塁走者とし、二塁、三塁の走者は順次前の打者として、無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で1イニングくり返すこととする(計2イニング)。それでも勝敗が決しない場合は、最終出場者9人による抽選を行う。

2 コールドゲーム及び特別継続試合について

- (1) コールドゲームは得点差による場合のみとし、3回10点差、5回7点差を生じた場合とする(決勝戦も採用する)。
- (2) 日没・降雨その他の事情で試合続行が不可能と判断された場合は、特別継続試合とする(翌日の第1試合)。

3 使用球について

全日本軟式野球連盟公認のケンコーM号とする(大会本部で準備)。

4 試合前の練習について

- (1) 第1試合のチームは7:30よりA・Bグラウンドでの練習が可能。
- (2) 第1試合以外の先発投手のピッチング練習については、試合の妨げにならない場所(ブルペン等)で、前試合の4回以降または60分以降メンバー表提出後に使用可能。ただし、本塁ベースは使用せず、試合の進行と安全に十分注意して行う。

※投手以外の練習は行わない。キャッチャーは、マスク・ファールカップを着用すること。

5 試合進行上の注意事項

- (1) メンバー表の交換は、1試合目については試合開始30分前とし、本部に4部提出すること。2試合目以降は、先に行われている試合開始から60分後に主将、監督がそれぞれのグラウンドの本部に提出する。なお、メンバー表はあらかじめ本部まで取りにくること。
- (2) 回数は7イニングとし、全試合90分ルールを採用する。給水タイム中は含まない。
 - ① 90分とは、プレイボールからの時間を指し、90分を超えて次のイニングに入らない(先攻チームがリードしている場合は裏の攻撃まで行う)。
 - ② ケガや病気等で長時間、試合の進行がとまった場合は、審判と本部の判断で試合時間に含まない。
- (3) ベンチは、若番を一塁側とする。
- (4) ベンチには次の人員以外入ることができない。

■監督1名(選手と同一ユニフォームを着用し、背番号30をつける)

■教員2名(1名は登録している外部コーチ可。選手と同一ユニフォームを着用し、背番号28、29をつける。監督以外は試合中、ベンチから出られない)

■当該学校長

■選手20名(背番号1~20を着用・ポジション順でつける)

■選手以外の3年生部員、スコアラー生徒1名(制服や体操服またはユニフォーム)

「ベンチに入ってもよいが、攻撃前の円陣等ではグラウンドには出ない。

※ ユニフォームを着用しないでベンチに入る引率者(教員)がいる場合は、報告を行う。

- (5) 試合開始前に、審判員からスパイク・バット・キャッチャー用具一式・ファールカップの着用の点検を速やかに受ける（シートノック時）。
- (6) 前の試合の終了後、10分後を目処に後攻のチームよりノックに入る。
- (7) ノック時間は各チーム5分以内とする。その際、ボールボーイを5名までつけることを認める（ヘルメットを着用すること）。なお、ボールボーイは試合開始後、グラウンドには入れない。
- (8) 投手の投球制限は、1日7イニングまでとする。ただし、先発投手が7イニングを投げ切りタイブレークになった場合は、1日最大9イニングまで投げることができる。
- (9) 故意四球は監督が審判に申告する。
- (10) 試合中のタイムの回数は攻撃で3回、守備で3回、監督3回までとする（延長戦に入った場合は攻撃、守備、監督それぞれ1回ずつ取ることができる）。
- (11) 試合時間の短縮のために心がける → 例年の課題です。徹底を！

- 攻守交代、選手交代は全力疾走で行う。
- 攻撃の先頭打者とランナーコーチはミーティングに参加せず所定の位置につく。
- 投球練習は初回・交代時は7球、イニングの始めは3球とする。
- 投手が捕手のサインを見るときは、必ずプレートを踏んで見る。
- 捕手はボックス内でかけ声をかけるようにする。
- ボール回しは毎回守備の最初のみとする。
- バッターがサインを見るときは、バッターボックスをはずさない。

- (12) 次打者は、ウエイトリングサークルで立って待つ。
- (13) ボールが場外に出たときは、ベンチ側のチームで取りに行く。
- (14) 危険回避のため、バット引きをベンチ入りしている選手で速やかに行う。
- (15) 規則上の疑義申し立ては、原則として監督および当該プレーヤーのみが質問する。
- (16) スポーツマンらしく、さわやかなゲーム展開を心がける（特に以下の点に気をつける）。

- グラウンドでつばを吐くような行為はしない。
- ヘルメット、バット等を投げつける行為をしない。
- バッターボックスの足場固めをするときに、砂をけり上げない。
- ベンチでの応援は手拍子で行う。指示の声は出してもよい。
- メガホンは監督に限り使用を認める（生徒の使用は認めない）。

- (17) 試合終了後の挨拶は、「ゲームセット」のコール後、ホームベースをはさんで行う。その後、相手チームのベンチへは挨拶に行かない。
- (18) 挨拶が済み次第、両チームより生徒5名程度を出し、グラウンド整備を行う。
- (19) スコアード係、ボールボーイは当該チームより2名ずつ出す。

6 その他の指導事項

- (1) 自転車は所定の自転車置き場に学校ごとにつめて整然と並べ、必ず施錠する。
- (2) 大会会場及び控室等の美化に努め、施設・器物を損傷しない。
- (3) 昼食は、試合の進行や通行の妨げにならない場所でとり、ゴミ等は各自で一切持ち帰る。
- (4) 試合以外（アップ時、観戦中の保護者等）のケガ・熱中症が多いので十分注意する。
- (5) 熱中症対策として、3回表終了時と5回裏終了時の審判員の給水に合わせて、攻撃側・守備側ともにベンチに留まらせ、給水時間を確保する。審判員の合図とともに守備位置に付き、試合を再開するまた、1イニングが15分をこえる場合は、両チームベンチに引き上げ、給水時間を確保する。

(6) 選手の着用道具等について以下の点の指導を徹底する。

- 打者・走者・次打者・ランナーコーチ・バット引きは両耳ヘルメットを着用する。
- 捕手は控えも含め、プロテクター・レガース・捕手用ヘルメットを着用する。ブルペンでも、フル装備をし、マスクを着用する（ファールカップを着用する）。
- 打者は手袋（白または黒の単色）を使用してもよい。ただし、ランナーコーチとの手袋の受け渡しは禁止する。また、手袋を握ったまま走塁を行なうことは禁止する。
- リストバンド（サポーター）の使用は認めない。ただし、ケガ等でやむを得ない場合は、メンバー交換時に審判に申し出て、相手チームの許可を得れば使用してもよい。
- アーチが見える形状のストッキングを必ず着用する（カラーソックスのみは不可）。
- 球場内でのバットリングの使用・持ち込みを禁止する。
- 突発事故が起きた場合は主審に申し出て、審判団が必要と判断したときには 一時走者を代えることができる。（投手・捕手を除く直前にアウトになった打順の選手）頭部死球の場合は、臨時代走を置く。
- グリップテープ・エンドテープがはがれたり、へこんだりした金属製バットや、ヒビの入った木製、特殊バットの使用は認めない。
- バットは J.S.B.B のマークがついていれば使用することができる。
- スパイクは、原則として黒または白一色とする。

《審判員について》

- (1) 服装は、審判帽（本部にて準備）、白のカッターシャツ（半袖、ポロシャツでも可）、黒または紺のズボンを着用する。靴の色は黒色が望ましい（日焼け防止のための長袖のアンダーシャツを可とする。色は黒、または紺）。
- (2) 常にボールから目を離さない。タイミングだけで判断するのではなく、正規の捕球・触球・触塁ができているかを確認してから宣告する。また、タッチプレーについては、できるだけ近くで見やすい位置に立ち、フォースプレーは離れて見る。
- (3) ジャッジは、事前に止まり、はっきりした大きな声と動作で行う。
- (4) タッチアップ時の離塁時期の確認は、捕球する野手と走者とが見通せる位置に立って行う。
- (5) フェア・ファールの判定は、一・三塁ベース前では球審が、それより後ろは塁審が行う（各審判が同時に異なる判定をしないようにする）。
- (6) ハーフスイングについての判定は球審が行う。球審が要請した時は塁審が行う。
- (7) 投手のボークについて、見える審判員が宣告する。ただし、タイムはかけず、ボールインプレーで行う。
- (8) 危険なプレーをした者には退場宣告することがある（審判団と審判長で協議し、判断する）。
- (9) ベンチ及びベンチ外の応援にも注意を払い、中学生らしくない場合には注意を与える。
- (10) 試合前にバット及びスパイクのチェックを行う（監督やコーチも同色のスパイクまたはアップシューズを着用する）。

バット：グリップテープのはがれ、へこみはないかを厳しくチェックし、悪い物は使わせない。

（試合中は本部へ預ける。試合後に返却する）。

スパイク；金属ポイント等のゆりみがある場合は運動靴に履き替えさせる。

※ 不備があった場合は登録用紙の裏に記入をして、翌日の審判へ申し送りをする。

- (11) 試合中のグラウンドコートの着用は、雨天時、ベンチ内に限り認める。

- (12) インフィールドフライの判定については、無死または一死で、走者が一・二塁あるいは満塁である時に打者が打った飛球で、内野手が落点に入ったことを確認し、近くの審判員が宣告する。
- (13) 野球規則 8.06（監督が投手のもとに行く制限）を適用する（守備3回、攻撃3回）。
- ※ 守備タイム中に、攻撃側が打ち合せを行った場合は、守備より早くといった場合には攻撃タイムのカウントをしない。
- (14) クロスプレー時の危険回避のため、攻撃側チームに速やかにバット引きを行うよう促す。また、膝を折っての触塁を阻止する行為（ブロック）については、走塁妨害とする。
- (15) 生徒をはじめ、会場内の人たちの安全確保のため、雷鳴がとどろいた時は速やかに試合を中断し、安全な場所への移動を促す（本部の指示による）。

《大会役員について》

役員・審判の昼食は用意できません。各自でお持ちください。

- (1) 役員・審判員の先生は、7:30に各会場に集合する。委嘱日は終日出張扱いとなるため準備・片付け等も積極的に協力する。
- (2) 両会場とも駐車場図に示されたように駐車を行い、できるだけつめて駐車する。

《応援・見学等について》

- (1) 登録選手（20名）、スコアラー（1名）、ボールボーイ（5名）以外の応援生徒を認めるが、引率者の監督の下、熱中症には十分気をつける。引率者が監督できない場合は、応援生徒の参加を控えるようにする。
- (2) 声を出しての応援や手拍子での応援を認めるが、体調管理を優先し、無理のない範囲で行うものとする。メガホンや太鼓等の持ち込みは、周辺住民への騒音の配慮のため行わないものとする。
- (3) 保護者の来場についても制限は行わないが、観戦スペースが限られるため、各校で以下の4点について、保護者への周知・徹底する。

- ① 会場の駐車場を利用する場合は、指定された場所に駐車するよう周知する。また、会場周辺に路上駐車をされると警察への通報が行われ、試合の進行の妨げになることを周知する。
- ② 会場の駐車場は、7時以降の開場とする。早く到着しすぎることがないように周知する。
- ③ 保護者に、駐車場図（後日、データで送付）をコピーして配付する。
- ④ すべての会場において数に限りはあるが、保護者観戦席を設けているため、周辺道路からの観戦は通行の妨げになるののでくれぐれもしないよう周知する。

《グラウンド・特別ルール》

【全グラウンド共通】

※ フェアグラウンド内は、基本的にオールフリーとする。ただし、樹木・植え込み等特別なものに打球がふれて、大きく状況が変わった場合は、審判団の協議により、進塁打数を決定する。

1 投手について

(1) 投球が場外に出たとき

á 走者に投球時における塁から1つの塁を与える。打者走者は、ボール4であっても進塁は1つだけ与える。

(2) 牽制球が場外に出たとき

á 投手板に触れているときは、進塁1、触れていない場合は進塁2とする。

(3) 打球処理が場外に出たとき á 内野手に同じとする。

2 捕手について

(1) 牽制球・盗塁阻止球が場外に出たとき á 送球時から進塁1を与える(★)。

(2) 打球処理が場外に出たとき á 内野手に同じとする。

3 内野手について

(1) 第1処理者・第2処理者の送球が場外に出たとき

á 送球時から進塁2とする。

※第1処理者とは、直接打球を捕球し、送球した者。

※第2処理者とは、第1処理者の送球を捕球した者。ただし、第1処理者が捕球後、走者に触球したり、触塁したりした後の送球については、第2処理者と同じとする。

4 外野手について

送球が場外に出たとき á 送球時から進塁2を与える。

5 その他

(1) ボールがバックネット・防球ネットに止まった場合、ボールが球場外に出たものとする。

《応援・見学等について》

(1) 登録選手(20名)、スコアラー(1名)、ボールボーイ(5名)以外の応援生徒を認めるが、引率者の監督の下、熱中症には十分気をつける。引率者が監督できない場合は、応援生徒の参加を控えるようにする。

(2) 声を出しての応援は、熱中症の予防のため行わない。手拍子での応援は認めるが、体調管理を優先し、無理のない範囲で行うものとする。メガホンや太鼓等の持ち込みは、周辺住民への騒音の配慮のため行わないものとする。

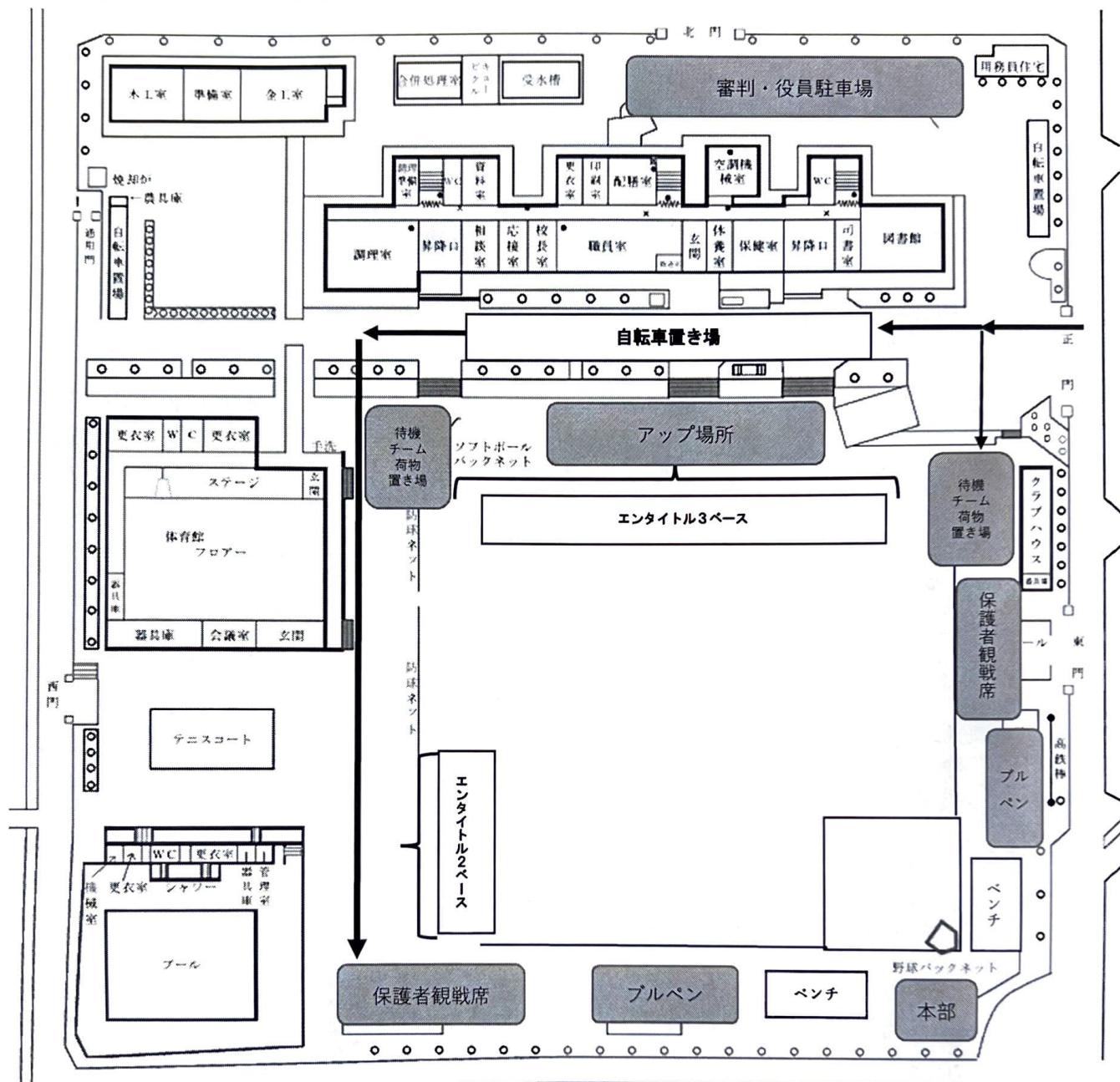
(3) 保護者の来場についても制限は行わないが、観戦スペースが限られるため、各校で以下の4点について、保護者への周知・徹底する。

① 会場の駐車場は、7時以降の開場とする。早く到着しすぎることがないよう周知する。

② 駐車許可証を配付する保護者に、駐車場図(後日、データで送付)をコピーして配付し、駐車場図に示されたかたちで駐車を行うよう周知する。

- ③ すべての会場において数に限りはあるが、保護者観戦席を設けているため、周辺道路からの観戦は通行の妨げになるのでくれぐれもしないよう周知する。

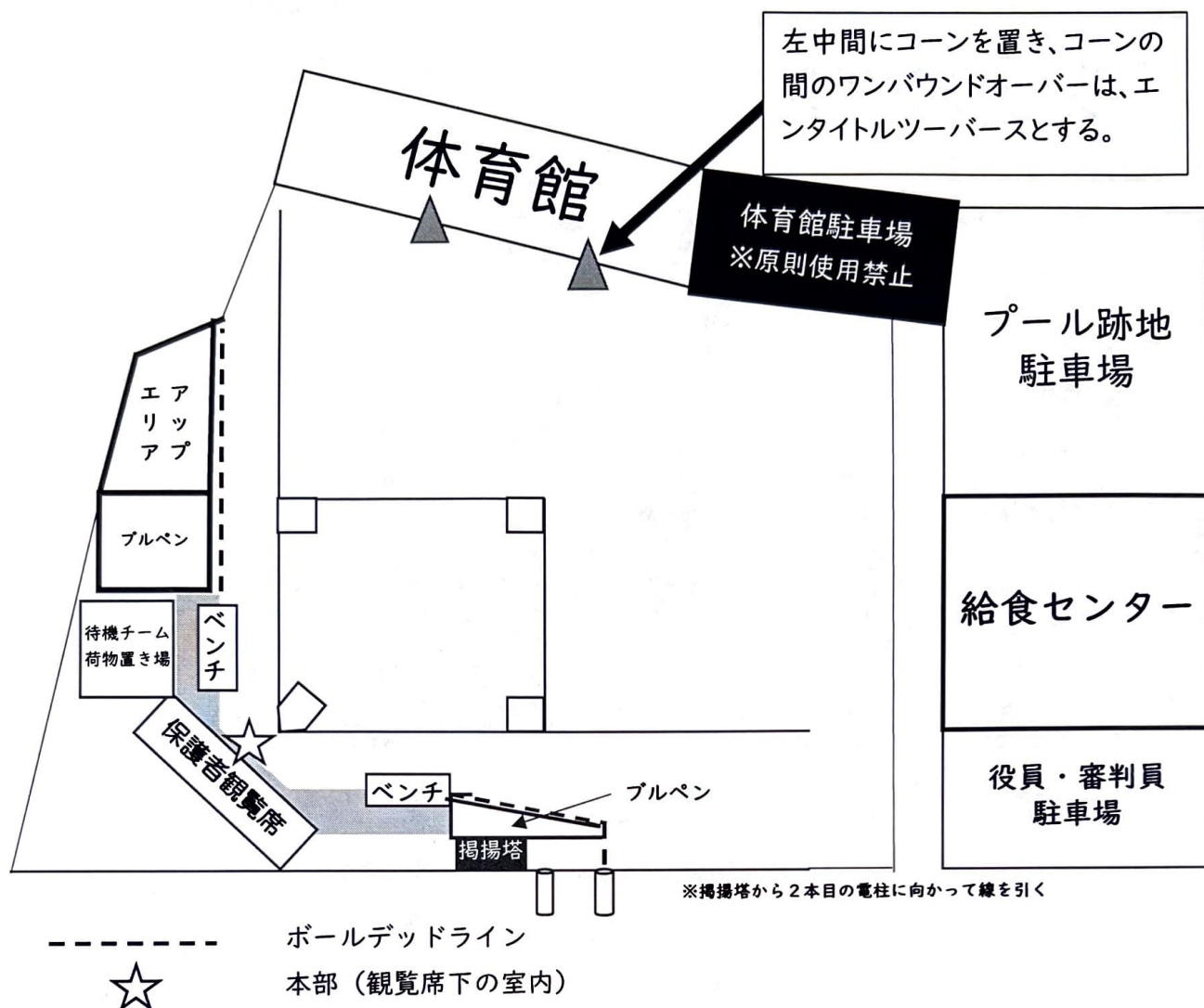
《扶桑北中学校グラウンド》



＜扶桑町立扶桑北中学校グラウンドルール＞

- ・ レフト側のネットを超えたらホームラン。レフトの防球ネットをバウンドして越えた場合はエンタイトル2ベースとする。ライト側は階段を超える打球はエンタイトル3ベースとする。
- ・ ブルペンは2カ所あり、次の試合の先発バッテリーは4回表以降または60分以降使用できる。
- ・ アップ場所はライト側とソフトボールのスペースを使用する。フェアゾーンなので、試合の打球には十分注意をする。ノックやバッティング禁止。軽いキャッチボール（先発メンバーのみ）や素振りには可能。
- ・ 待機チームの荷物置き場は、1塁側チームはクラブハウス付近、3塁側チームはソフトボールバックネット裏付近とする。試合進行の妨げになるような場所に荷物は置かない。
- ・ 1塁側チーム及び保護者はクラブハウス側から、3塁側チーム及び保護者は体育館側からプール方向へ移動する。バックネット裏は通らないこと。
- ・ 自転車置き場（校舎とグラウンド間のアスファルト）はきれいに詰めて並べる。

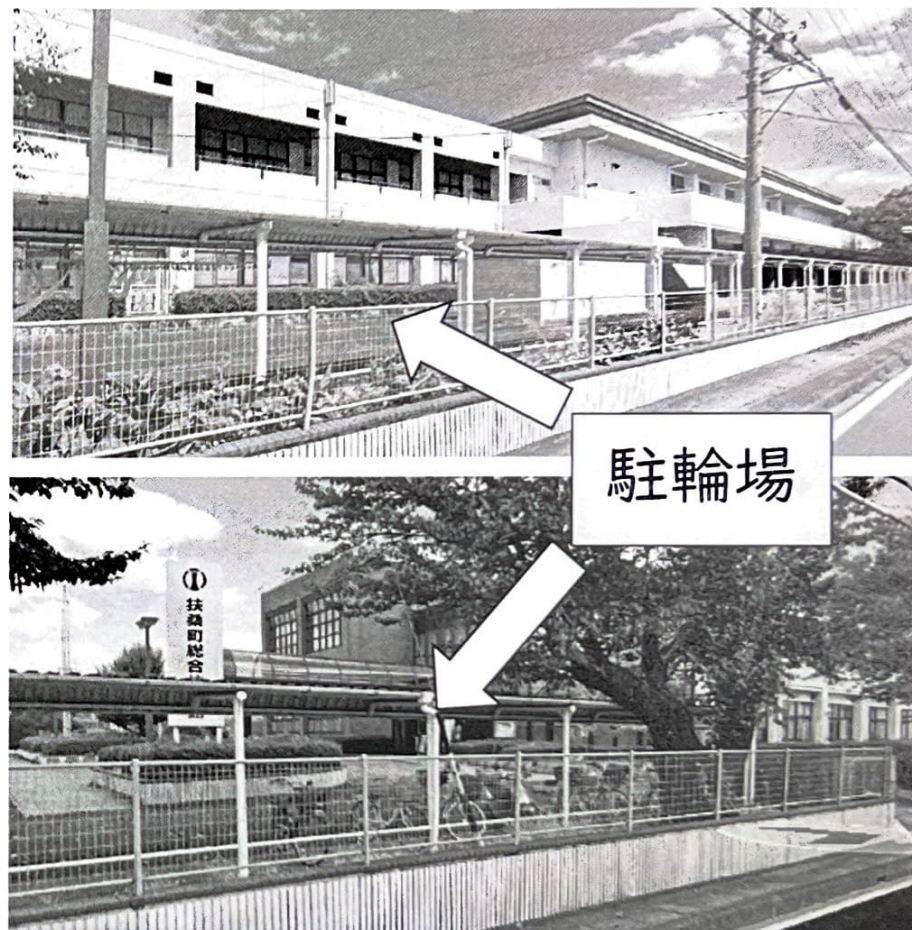
《扶桑町総合グラウンド》



〈扶桑町総合グラウンド グラウンドルール〉

- ・ 外野は原則フリーとする。ただし、ネットが破れている箇所があるため、そこから抜けた場合はエンタイトルスリーベースとする。
- ・ ボールデッドラインを超えない限り、ファールゾーンは原則フリーとする。
- ・ ブルペンで投球練習を行う際は、内野から外野に向かってピッチャーが投げるようにする。
- ・ アップエリアでは、ボールやバットを使用しての練習は不可とする。
- ・ 荷物は、荷物置き場に置き、アップエリアには置かない。
- ・ 保護者の観覧はスタンドのみとする。アップエリアへの立ち入りは、禁止とする。

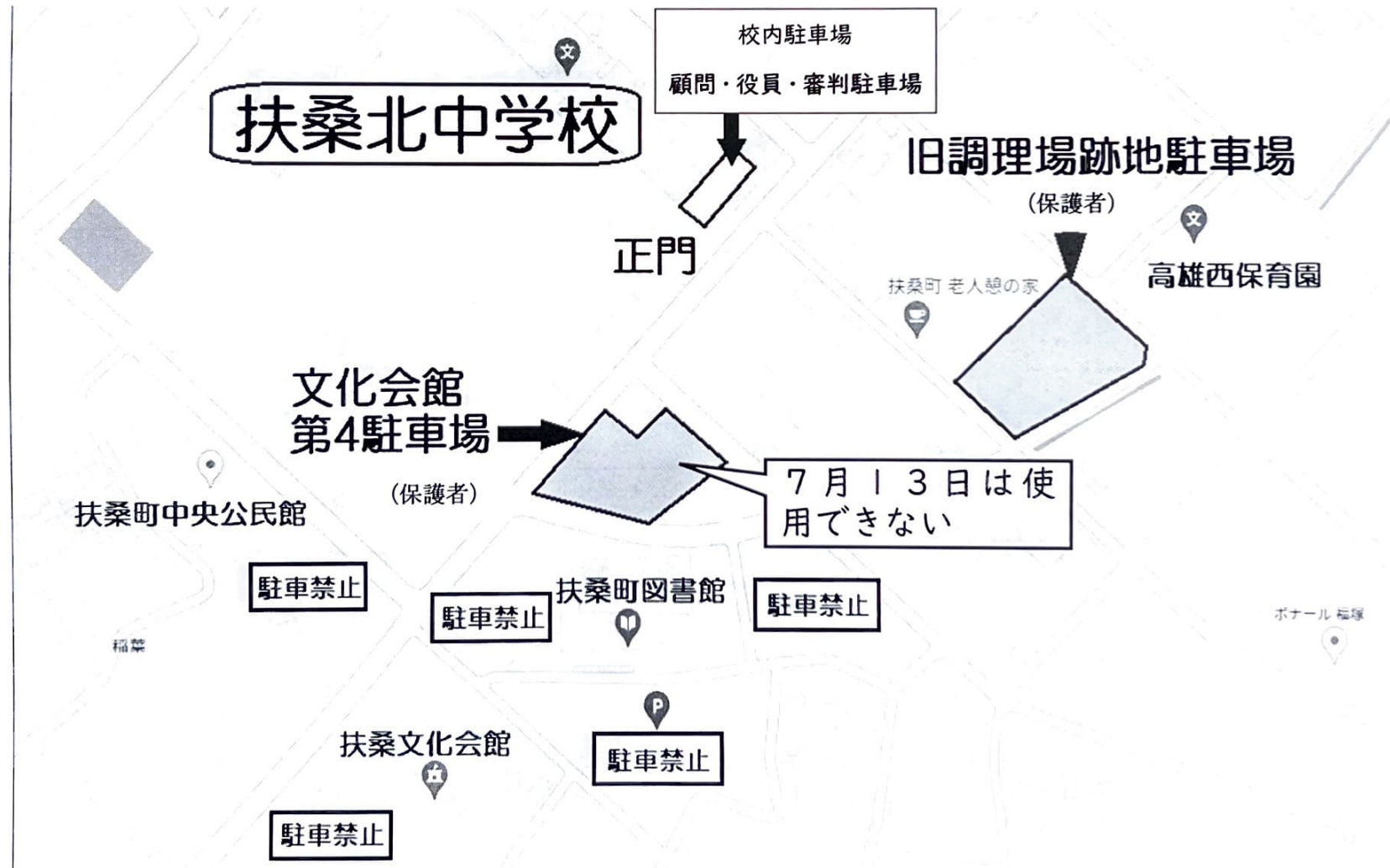
扶桑町総合グラウンド 駐車場・駐輪場



- 役員・審判員駐車場は給食センター駐車場です。体育館前の駐車場は原則駐車禁止となります。
- 保護者駐車場は、グラウンド北側の砂利スペースです。満車の場合は、プール跡駐車場（砂利の駐車場）に駐めることもできます。
- 自転車は、体育館南側にある屋根付きの駐輪場に整頓して駐輪してください。

扶桑北中学校・駐車場・駐輪場の使用について

顧問・役員・審判の方は、校内に駐車して下さい。文化会館第4駐車場(砂利の駐車場)には駐車しないでください。自転車は、扶桑北中学校正門を入り、校舎前に駐輪してください。



顧問・役員・審判の方は、正門から入り、北門から東側に駐車して下さい。北門から西側は職員の駐車場になりますので、駐車しないでください。また、学校周辺の図書館・公民館の駐車場は、絶対に駐車しないようご協力よろしくお願いします。

